



# 平生町

# 議会だより

6月議会報告

6月定例会 6/19~27(9日間)

第169号

2023年7月28日

発行 平生町議会 発行責任者 中村 武央  
 〒742-1195 山口県熊毛郡平生町大字平生町 210-1  
 TEL 0820-56-7110 FAX 0820-56-7109  
 E-mail gikail@town.hirao.lg.jp  
 編集 議会広報広聴調査特別委員会  
 印刷 中村印刷株式会社



## 4年間よろしくお願ひします

### 議長就任あいさつ

平素は、当議会に対し深いご理解とご協力を賜り心より厚く御礼申しあげます。

さて、6月1日の臨時会におきまして、栄えある平生町議会議長並びに副議長にご選任を賜り、心より感謝申し上げます。私たちにとりまして、身に余る光栄に存じますとともに、その重責に身の引き締まる思いでございます。

今回の平生町議会議員一般選挙は、8年ぶりの選挙戦となり、14人が立候補いたしました。残念ながらこの議場でその思いを果たすことができなかつた候補者もおられます。だからこそ町民の負託を頂いた我々は、その方々の思いを背負って、議員としての活動を進めていかなければならないと強く感じています。

我が国の地方自治の本旨は、議会と行政は共に切磋琢磨して町民生活の向上に努めていくという、いわゆる二元代表制にあると考えております。したがって、平生町議会におきましても、町執行部としっかりとした議論を重ね、町民のための施策を実践していくことが、明日の地方自治発展に繋がるものと確信しております。本町発展のため、よりしっかりとした平生町議会の運営に努め、様々な課題に対する確な施策を実現できるよう、力を尽くしてまいります。

今後とも、町民の皆様方の温かいご支援並びに、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



議長 中村武央



副議長 細田留美子

# 第4回臨時会

令和5年第4回臨時会が6月1日に開催され、議会の体制を決定し、報告3件を審議しました。

▼4月の選挙で当選した新しい議員による初めての議会が開催され、議会構成が決まりました。

議長には中村武史議員、副議長には細田留美子議員が選出されました。

総務厚生常任委員会、産業文教常任委員会、議会運営委員会、広報広聴調査特別委員会それぞれの委員長、副委員長および委員の選任、一部事務組合議員の選出が行われました。

▼地方自治法の規定に基づき、繰越明許費繰越額の報告がありました。

▽報告第2号

令和4年度平生町一般会計繰越明許費繰越額の報告

▽報告第3号

令和4年度平生町下水道事業特別会計繰越明許費繰越額の報告

▽報告第4号

令和4年度平生町漁業集落環境整備事業特別会計繰越明許費繰越額の報告

## 総務厚生常任委員会



委員長 河内山宏充  
副委員長 中本敦子  
委員 長尾 忠明  
赤松 義生  
細田留美子  
中村 一幸

## 産業文教常任委員会



委員長 岩本ひろ子  
副委員長 原 真紀  
委員 河藤 泰明  
平岡 正一  
中川 裕之

## 一部事務組合

田布施・平生水道企業団	中川裕之 岩本ひろ子 中村一幸
熊南総合事務組合	河藤泰明 中本敦子 原真紀
周東環境衛生組合	赤松義生 長尾忠明
柳井地区広域消防組合	河内山宏充
柳井地域広域水道企業団	平岡正一

## 議会運営委員会



委員長 中川 裕之  
副委員長 平岡 正一  
委員 河藤 泰明  
原 真紀  
中村 一幸  
河内山宏充

令和5年第5回定例会が6月19日から27日までの会期で開かれ、補正予算1件、条例5件、監査委員・農業委員・副町長の選任または任命の同意8件、追加補正予算1件をすべて全会一致または賛成多数で可決し、閉会しました。

補正予算の主な内容

議案第27号

○マイナポイント事業

76万円

○デジタルデバイス対策事業

172万円

○過年度国庫返還金

1,384万2千円

議案第33号

○保健センター修繕料

76万3千円

○佐賀小改修工事

800万円

○中学校水道料

37万9千円

常任委員会審査報告

総務厚生常任委員会

22日に委員会を開き、付託された議案第27号、31号について審査を行った

議案番号	議案名	審議結果
議案第27号	令和5年度平生町一般会計補正予算(第2号)	賛成多数
議案第28号	平生町情報通信技術を活用した行政の推進等に関する条例	全会一致
議案第29号	平生町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	全会一致
議案第30号	平生町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	全会一致
議案第31号	平生町放課後事業健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	全会一致
議案第32号	平生町営住宅条例の一部を改正する条例	全会一致
同意第2号	監査委員の選任について	全会一致
同意第3号～第8号	平生町農業委員会委員の任命について	全会一致
同意第9号	副町長の選任について	全会一致
議案第33号	令和5年度平生町一般会計補正予算(第3号)	全会一致

た結果、全て全会一致または賛成多数で可決すべきとなりました。

議案第27号について、スマートフォン講座は進むのか質疑がなされ、9月くらいから各地域交流センターで月1回程度、実施していくとの回答でした。

総務費において、マイナンバーカードに関するトラブルが発生しており、普及に関わる事業は一旦中止するべきとの反対討論がありました。

議案第28号について、住民票など役場に来なくても取得できるようにするために必要な条例なのか質疑があり、書面で申請を行うことが各条例で規定されているものを、包括してオンラインで可能とする条例の制定であるとの回答でした。

産業文教常任委員会

21日に委員会を開き、付託された議案第32号について審査を行った結果

全会一致で可決すべきとなりました。

議案第32号について、解体工事の進入路が狭いと質疑がなされ、道路を広げることができないため、多少工事費がかかるが小出しで工事を行っていききたいとの回答でした。

監査委員に平岡議員

議会選出の監査委員の任期満了に伴い、平岡議員の選任について全会一致で同意しました。

副町長に友田隆氏

副町長の任期満了に伴い、新たに友田隆氏の選任について同意が求められ、全会一致で同意しました。



友田 隆 氏



平岡正一 議員

農業委員の任命に同意

農業委員の任期満了に伴い、現農業委員の再任に全会一致で同意しました。



内山壯二氏  
(平生町)



吉崎秀和氏  
(小郡)



金福和広氏  
(大野北)



瀬尾純夫氏  
(平生町)



窪田伸子氏  
(大野南)



富田康史氏  
(宇佐木)



細田留美子 議員

# いっぱん質問



が聞きたい



## 質 放置船を出さない取組を

答 放置船のおそれがある場合は訪問や電話などで行政指導を行う



ひらおポートパーク

質

国は環境悪化や災害の拡大、漁業への悪影響が懸念されるとして2022年度までに放置船ゼロを目標に掲げた。

しかし4年に1度の調査では前回7万隻にものぼった。これは所有者の廃業や高齢化、死亡によるものと考えられる。

佐賀漁港やひらおポートパーク等に係留中の漁船やプレジャーボートがあるが実態を問う。

これから放置船が増えることが心配される。早めの対策が効果的だ。適切な指導を望む。

答 町長

町内には、県から町が管理を受託している県有施設のひらおポートパークと本町管理施設の佐賀漁港がある。令和5年4月1日現在、ひらおポートパークにはプレジャーボートのみで、係留隻数は57隻、佐賀漁港では漁船53隻、プレジャーボート59隻の係留状況である。

放置船は、現在両施設とも確認されていない。放置船のおそれがある場合は訪問や電話などで行政指導を行う。

ひらおポートパークは、毎年度初めに係留申込書や住民票など必要事項を確認し利用許可をしている。

佐賀漁港では、漁業者とのトラブルが発生しないよう所有者などの情報を漁協と連携し確認している。

## 質 投票で選挙に参加を

答 いろいろとこれからも検討していきたい

質

選挙は私達国民が政治に参加する大切な機会だ。誰もがこの権利を行使できるように次のことを聞く。

- ① 今回から投票日の投票時間が2時間短縮された。影響はあったか。
  - ② 期日前投票や不在者投票の状況はどうか。
  - ③ 近年投票率が下がっているが今回の状況は。
  - ④ 素早い開票作業が求められているが今回は予定通り進んだのか。
  - ⑤ 立会人の選出方法と待遇を質問する。
- 期日前投票は知事選など16日間と長い。国の選挙前制度ではあるが、もっと短くする方向にはならないか。
- 立会人は若い人にも興味を持ってもらう主催者教育となる。広く参加できる体制を望む。

答 選管事務局長

- ① 午後8時から午後6時へ2時間繰り上げに係る問い合わせはなかった。
- ② 全投票者の約4割近くが期日前投票である。不在者投票については数字では減少傾向にあるが、一定数の利用がある状況なので今後も続ける必要があると感じている。
- ③ 政治離れ、無関心が投票率低下につながっていると考えている。
- ④ 予定時刻に収まらなかった。適正な開票事務に努めたい。
- ⑤ 立会人は、投票立会人と開票立会人がいる。投票立会人は日額1万800円、開票立会人は1回8,900円となっている。選任については今後、主催者教育の一環として、若年者を対象に投票立会人の公募を行うなど取り組みを検討したいと考えている。



長尾忠明 議員

**質** 病児保育送迎をタクシーによって対応することはできないか

**答** 先行自治体の事例を参考に研究したい

**質** 子育て支援について質問する。

保育園に登園後に園児に高い発熱などが確認されると、連絡があり、保護者などが早く降園させ、受診や療養にあたっている。

病児保育施設の利用しやすい環境整備の一つとして、園児の保育園から病児保育施設まで、タクシーによる送迎の対応はできないか。

この対応ができればより良い職場選択にもつながり、仕事と子育ての両立のための、経済的・時間的な大きな支援の一つになる。

子育て世帯の者を雇用する側においても負担軽減になり、職場の選択肢も増えることも期待できる。各組織、団体、企業における積極的な女性登用にもつながると考える。

**答** 町長

保育所等に通っている児童が急に発熱等体調不良となった場合は、保護者にお迎えの要請をお願いしている。

働く女性が増え、共働き世帯が増加している。保護者が仕事の都合で迎えに行くことが困難な場合も想定される。病児保育室による送迎サービスは、子育てと仕事の支援につながるかと考えており、先行自治体の事例を参考に研究したい。

タクシーによる場合は看護師をタクシーに乗せることになるので、どう対応できるか他の市町で取り組んでいるところを参考に検討する。



ひらお保育園

**質** 町内の県道23号線光上関線の交通安全のための修繕と整備などについて

**答** 現地確認の上、山口県土木建築事務所へ再度要望する



佐賀小付近の県道

**質** 道路行政について質問する。

町には大きな道が2つある。

国道188号線については町にとって、より良いカタチで早期のバイパス開通を望む。

県道23号線光上関線も生活、通学、産業などで重要な道路である。以下5か所の交通安全のための修繕と整備などについて問う。

角浜北交差点以北の拡幅予定。平生新橋田布施側の歩道傾斜部の危険箇所の把握。西水場付近の急カーブの当面の対策。田名から名切付近にできる大きな水たまりの対策。佐賀小学校前の狭い歩道の拡幅について。

**答** 町長

本路線は当広域圏の主要路線で、道路管理者は山口県柳井土木建築事務所が所管している。

角浜北交差点以北の拡幅については、交差点の右折レーン設置を進める上で測量設計を実施しており、本年度は用地買収を行う予定。

平生新橋から田布施側の道路傾斜部の危険箇所は県に状況報告し対応をお願いしている。

西水場付近の急カーブは、道路舗装が悪い箇所を県へ報告して補修を依頼している。

田名から名切付近についても県とともに現地確認し対策をお願いしている。

佐賀小学校前の歩道の拡幅は地元等から要望を受け、県に拡幅を要望している。

これらは現地確認を行い、県土木建築事務所に再度要望する。



中本敦子 議員

## 質 生きがいを感じる職場づくり

### 答 職場環境の改善は急務である

質

① 町民、議会、職員の信頼関係は。  
② 価値観の共有は。  
③ 職場環境の整備が必要では。

3月議会でも町民のため、議会のため町長が答弁され感銘を受けた。私も正々堂々と平生町のために、住みたくなる・住んでよかったと思っていただけまちづくりに努める。私は情報に不安を抱いた。6月からの新体制を踏まえ、新たな議会スタートに先立ち、町民のため・議会のため・職員のため、もう一度答弁をお願いする。

答

町長

公務員は究極のサービス業であり、町民が喜んでくれることが公務員としてのやりがいである。そのことを職員に伝え、職員とともに、各種業務、事業に取り組む。

価値観は多種多様である。お互いの価値観を理解しあえることが大切で、上司との一对一のミーティングなど、一緒に考える機会の確保に取り組む。

新庁舎に移転し、ハード面の環境は改善されたが、長時間勤務が常態化している職場もあり、そのような環境の改善は急務と考えている。



役場1階窓口

## 質 町の存続と若者に負担をかけないための検討課題

### 答 社会情勢の変化により対応していく

質



曽根地域交流センター

① 曽根地域交流センターは毎月100万円を10年間払い令和4年で完済したが、借地料の支払いは続いている。人口減少、少子化が考えられ、若者への負担が続くのではないか。  
建設時からの経過報告↓現状↓今後の対応について尋ねる。  
② 借地料を支払っている公共施設は他にあるか。  
③ 若者が住み続けられる対策は考えているのか。

現在の農業政策と合わせ、若者のため農村整備はどのように進めているのか、現状と将来像を問う。

答

町長

① 曽根地域交流センターは、平成24年に建て替えた。建て替えに際しては地元住民と協議を重ね、財政的負担軽減を図るためリース方式で建設した。借地料については、社会情勢の変化により必要な場合は、協議の上決定したい。

② 借地料を支払っている公共施設は13か所。借地料合計は年額約321万円である。

③ 農業初心者には、地域で学び進めていくのが一番だと考えている。栽培技術の習得は、JA南すおう統括本部実施の営農塾や県の農業大学校実施の短期入門研修、担い手養成研修など受講可能である。町単独の制度として小規模農家支援事業による農業機械リース費用補助制度の活用も可能である。



赤松義生 議員

## 質 オオキンケイギクの駆除対策を問う

### その他の質問

- ・新型コロナ5類に引き下げで何が変わったか
- ・教職員の長時間労働の改善について
- ・上関原発の建設計画について



オオキンケイギク

また、町としてはどう対応されるのか。

県は駆除には地道な取り組みが必要と呼びかけているが、県の対応はどうなっているか。

## 答 駆除の周知と啓発を引き続き行う

### 質

特定外来生物「オオキンケイギク」が町内各地にはびこっている。

環境省によれば栽培すると個人の場合、懲役3年以下、300万円以下の罰金と紹介されている。

花はきれいなので地域の草刈りの時など、刈らずに残されることもある。環境省では繁殖力が強いことから日本の在来種を追いやり、日本の風景を変え生物多様性を損なう恐れがあると注意を呼び掛けている。

最近、町内でも県道沿いを中心に目につくようになってきた。県に確認したところ、県道の維持管理の業務では、交通の支障の出ないように計画的に管理する中で、特定外来種の駆除等を優先して実施することは難しい。また、県自然保護課としては、駆除などの事業を実施することが現実的に厳しい中、県民に対して身の回りのオオキンケイギクの駆除の啓発を継続することである。

### 答 町長

本町としても、道路の維持業務の中で、この駆除を優先して行うことは難しい。また、これまでも広報及びホームページを通じて啓発を行っている。町内でこの花が定着しているのを、さらなる周知を図るため、啓発方法や機会を捉えるなど工夫をしていく必要があると考えている。

## 質 介護保険料の引き下げを

## 答 基金の活用など検討していく

### 質

来年度から第9期の介護保険事業計画が始まるが、保険制度そのものについては、国の法で決められるが、保険料については平生町で決めることになる。

最近、電気料金やガソリン、食料品など物価の高騰は高齢者の生活を厳しいものにしていく。

介護給付の準備基金と令和4年の決算剰余金を合計すると2億を超える。

第8期の時も引き下げを行ったが、基金を活用して引き下げができないか。

また、12段階を新設し、高額所得者には応分の負担を提案する。

### 答 町長

今年度、令和6年度から向こう3か年を計画期間とする第9期介護保険事業計画を作成する。

75歳以上の人口が最も多くなることが見込まれる、いわゆる「2025年問題」を考えた含めて、介護給付金を推計していく。

介護給付費に応じた介護保険料の算定にあたっては、介護給付費準備基金の活用を考えていく。

どれだけの給付費が発生して、どれだけの保険料を納めてもらわなければならないかということもふまえて計画を策定する中で検討していく。





原 真紀 議員

## 質 転入後でも移住者の住宅支援が受けられないか

その他の質問

・丸山海浜パークのトイレにベビーチェアを

## 答 住民ニーズと近隣市町の動向を見極めながら検討していく

質

移住を考える子育て世代がその場所に住むことを決める時「家」「教育環境」「仕事」がポイントとなる。平生町への移住定住促進について尋ねる。

①空き家バンクの登録情報内容を充実させてはどうか。登録住宅の現状の情報も必要。

②空き家バンクリフォーム事業の利用対象を広げてはどうか。町外から転入後2年以内なら利用できるなど。

③0歳から18歳の子どもがいる世帯が町内で中古住宅を購入する際の支援を充実することはできないか。

④移住情報サイトの情報更新を積極的に行っているかどうか。

新鮮な情報発信と移住が完了するまでの支援体制を作ってはどうか。

①不特定多数の不正なアクセス等の防止のため、最低限に情報掲載している。町に問合せのあった場合は、職員や協定事業所を通じて紹介をしている。

②現状では町内に在住の方は利用できない。対象者の拡大は、移住者の増加と空き家の解消の目的のバランスを考慮し、住民ニーズと近隣市町の動向を見極めながら検討する。

③若者定住促進事業の中で、中古住宅の購入も含め助成をしている。対象者は夫婦のどちらか40歳未満としており、子育て世代にも、概ね該当すると考えられているが、検討していく。

④町ホームページ、各SNS、情報サイトも積極的に活用し、定期的更新と内容の充実を図っていく。

答 町長

## 質 安全な学校給食の食材を

## 答 地産地消をすすめ、安心安全な食材を提案している

質

①成長期の子どもたちが毎日食べる給食は安全第一である。学校給食で使用する食材の仕入れ、選定方法はどうか。遺伝子組み換え食品、ゲノム編集食品、残留農薬についても調査しているか。

②平生町内で生産されたお米や野菜が生産者の方の努力の元に子どもたちが毎日食べている学校給食を支えている。その素晴らしさを町外の方へも知ってもらう機会となる「オーガニック給食マップ」への新規登録をしてはどうか。

「オーガニック給食マップ」とは「学校給食をオーガニックにする日本・世界の活動情報・最新情報をまとめ、わかりやすく共有し、情報インフラとしての役割を果たすことで、活動する皆様をサポートする」ウェブサイトです。

答 教育長

①給食の献立に応じて必要となる食材は、まずは町内産、そして県内産へと幅を広げているので、町内業者及び近隣業者等からの納入に加えて、山口県学校給食会からが主な仕入れ先となる。

文部科学省の学校給食衛生管理基準に基づいて食品を選定し、納品時に業者と確認している。加えて町内施設では、1年間に少なくとも1校、毎年検査機関に依頼して食材の検査をしている。

②有機食材を使うオーガニック給食は、全国的に広がりを見せている。平生町も地産地消を積極的に進めており、安心安全な食材を提供している。

オーガニック給食マップへの登録についても、学校給食施設の在り方と合わせて、検討したい。



## 質 「ぬくもりある平生町のために必要なこと」について



河藤泰明 議員

### 答 職員が十分能力を発揮できる体制づくりをしていく

**質** それぞれの事業や体制の総点検をし、生きがいをもって働ける職場体制を創れないか。

職員同士、そして町民と行政が信頼でつながり、様々な厳しい状況を笑顔で乗り越えるため、デジタル化等もあるが、基本に戻り、人と人がつながり、支え合い、みんなが力を発揮し、成功できるような、平生町独自の生きがいを感じる仕事の中で人材を育成する取り組みは出来ないか。

**答** 町長 約3年間続いたコロナ禍において、感染対策としてのイベント中止等により、町民同士や地域住民と行政との交流機会が失われた。職員間にも同様の事態が生じている。

現在のようないろんな情報化社会にあつては、SNSなどを用いたコミュニケーションが可能であるが、同じ地域や職場で働く者同士の交流は対面のほうがより濃密で有効である。今後のイベント開催についても関係者の間でしっかりとコミュニケーションを取りながら考えていく。

7月から新体制となるが、この機会に職員との意思疎通を図り、職員が十分能力を発揮できる体制づくりをしていく。



役場2階

## 質 窓口業務の接客接遇について



中村一幸 議員

### 答 信頼される明るい役場を目指す

**質** 役場の業務の中でも、窓口業務は直接町民の方と接する場であり、その時の職員の対応の良し悪しが町役場そのものの評価に繋がると思う。

職員が笑顔で親切丁寧に応対してくれたら、町民の方も笑顔になれ平生町が地域で一番接客・接遇の良い行政窓口になる。

職員の誰が対応しても同じような対応できるように基本となる「窓口業務及び電話対応マニュアル」は作成しているか。

接遇や窓口業務に関する研修を受講しているか。受講しているとしたらどのような研修を受講しているか。

**答** 町長 窓口業務については、町民から職員の接遇について意見を聞いている。

接遇は住民の方の目線に立ち、個別の対応をするものであり、誰でも満足のいく対応は難しいと認識しているが、接遇スキルの向上は終わりのない課題である。マニュアル作成は各課で担当する業務ごとに作成している。

窓口業務に関しては、新規採用職員への研修や実習などを行っており、若手職員にはコミュニケーション能力向上やクレーム対応など計画的に受講させている。会計年度任用職員には職場内で職員が実務を通じて指導を行なっている。

公務員としてのやりがいは町民の満足であり、信頼される明るい役場を目指し、今後必要な取り組みを行う。

私たちが今後2年間 議会だよりをお届  
けします。よろしくお願いいたします。

## 議会広報広聴調査特別委員会



新人議員2名を含む、私たち6名が今回から「議会だより」を担当します。  
気軽に手に取ってもらいやすい、分かりやすく、読みやすい議会だよりを目指して頑張ります。みなさんからの投稿やご意見をお待ちしております。

### 議会の動き

- 3月8～22日 令和5年第2回定例会
- 3月13日 議会広報広聴調査特別委員会
- 3月22日 議会全員協議会
- 3月28日 熊南総合事務組合議会
- 〃 田布施・平生水道企業団議会定例会
- 4月25日 議会広報広聴調査特別委員会
- 5月9日 議会広報広聴調査特別委員会
- 5月17日 議会広報広聴調査特別委員会
- 5月18日 令和5年第3回臨時会
- 6月1日 令和5年第4回臨時会
- 6月5日 議会運営委委員会
- 6月7日 議会全員協議会

(令和5年3月8日～  
令和5年6月18日)

### 令和5年9月定例会会期(予定)

9月 8日(金)	9時	本会議
12日(火)		本会議
13日(水)		決算特別委員会
14日(木)		決算特別委員会
15日(金)		総務厚生常任委員会
19日(火)		産業文教常任委員会
21日(木)		議会運営委員会
22日(金)		本会議

### 原稿募集

議会のこと、我が町自慢  
つれづれに思うこと何でも  
結構です。

字数  
400字以内

提出先  
平生町役場  
議会事務局  
議会広報担当者

紙面の都合で一部変更することもあります  
が、ご了承願います。掲載文には薄謝を差しあげます。

### 議会を傍聴してみませんか

文字で見ると、直接聞くのとでは全く違います。特に一般質問は、議員の政治姿勢や熱い気持ちも感じられます。  
また、答弁する執行部の本気度も肌で感じる事ができます。



### 編集後記

広報の編集作業に追われている6月末から7月初め、各種の警報や避難指示が出されるなど、かなりの雨が降りました。床下浸水などの被害は聞いていませんが、土砂崩れなどの被害は発生しました。私たちの町の中心部は、大野毛利の横道忠右衛門による干拓で開かれてきました。

移設はされましたが「南蛮樋門」、干拓の堤防の上に形成された街並。先人達が経済の振興のために自然に働きかけた街の風景に何となく愛着を感じます。

1985年大内川排水機場にポンプが設置され、雨水の排除方法は大きく変化しました。その結果樋門に閉ざされた熊川や堀川。環境の変化は、見るに忍びないものがあります。環境を大切にしながら、潮の干満と雨水の処理に付き合っていくべきだと思います。住めば都、愛着を感じる町のために。

赤松義生